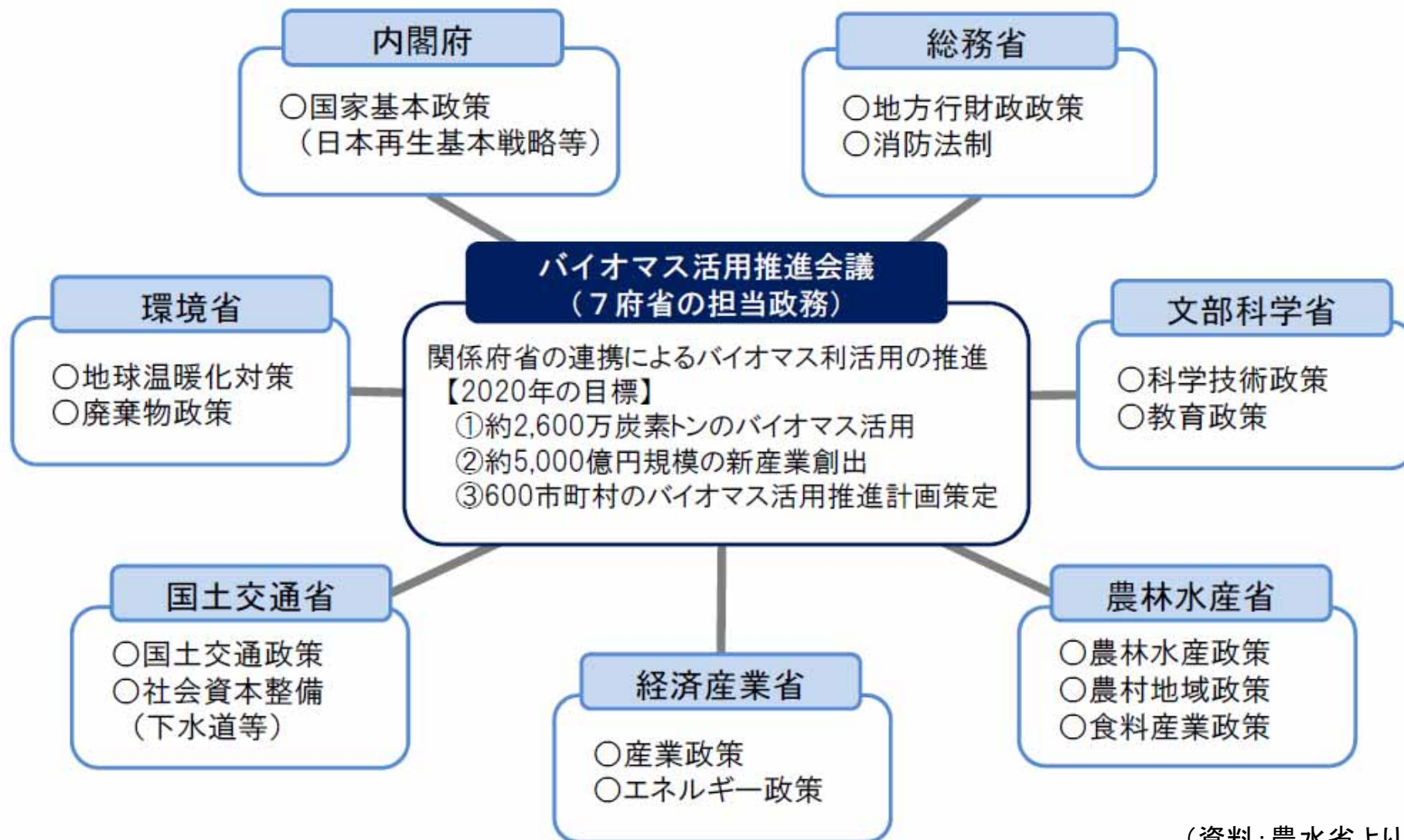


(資料:農水省より)

バイオマス政策の推進体制



(資料:農水省より)

バイオマス・アジア戦略

アジア

日本

- ・豊富なバイオマス資源 (世界の約40%を保有)
- ・アジア諸国の保有技術
- ・収集/輸送等のコストの優位性

- ・日本の保有技術・知的財産
- ・バイオマス・ニッポン総合戦略
- ・アジア諸国との連携ニーズ

「持続可能な成長に向けて」
相互補完的・互恵的な共同研究開発

1. 環境にやさしい新エネルギー(バイオ起源の燃料エネルギー)とバイオマテリアルの産業化
2. バイオマス利用によるCO₂排出量の低減
3. 持続可能な第一次産業の促進・バイオマス関連新産業の創出

- ・アジア、および地球規模でのエネルギー多様化とセキュリティ安定化
- ・地球温暖化防止への寄与と持続可能な成長(環境負荷、エネルギー効率、経済成長の両立)に向けたアジア諸国との連携強化

ポスト石油社会・低炭素社会の構築に向けて

バイオマス・アジアネットワーク

< 概要 >

アジアに大量に賦存するバイオマスの相互有効利用のため、資源・技術・人材育成のネットワークを構築

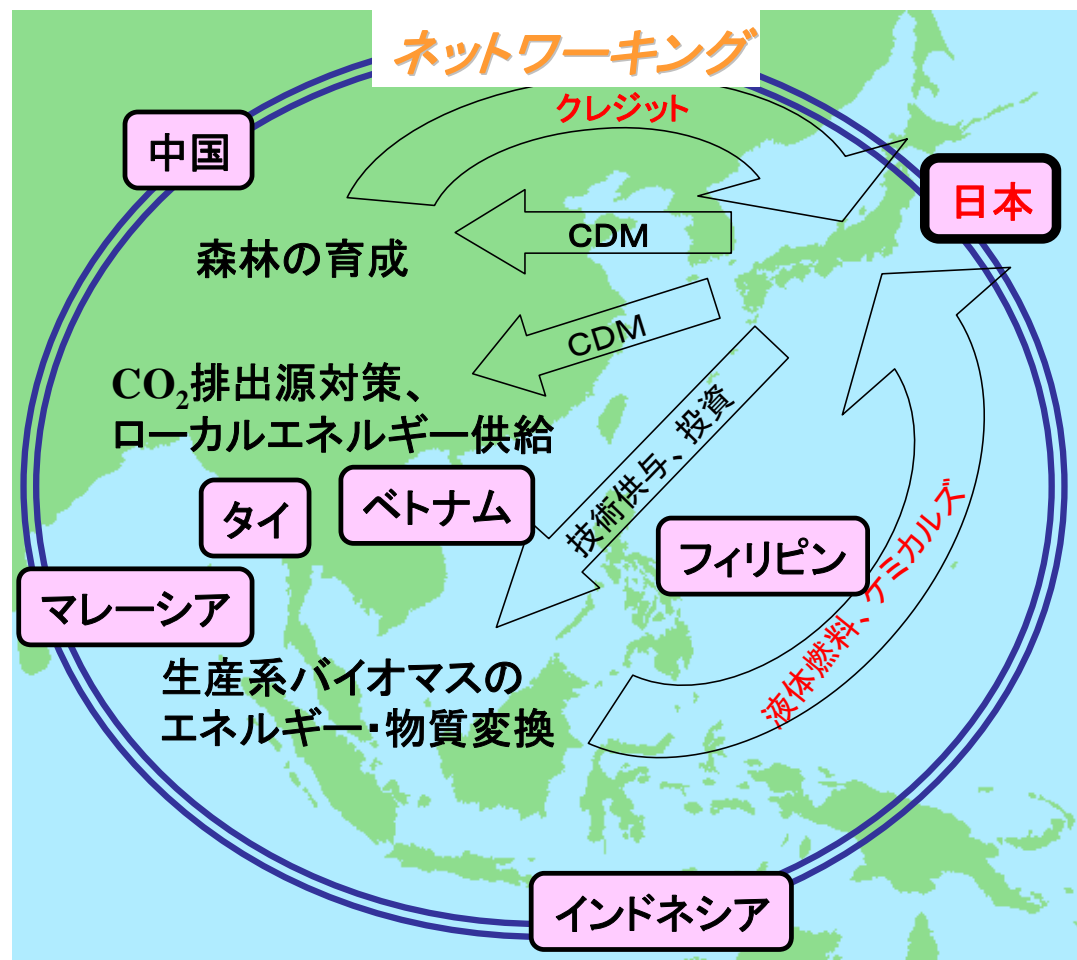
< 研究内容 >

バイオマス利用は地域特性が高く、また資源・技術も多種多様である。国別、資源別の賦存量等のデータベースを作成し、研究機関間の分散型ネットワークを構築。(例えば、タイ・ベトナムのライス・シュガーエネルギー・コンプレックス、マレーシア・インドネシアのパームエネルギー・コンプレックス、ウッドリファイナリー構想を展開中)

< 開発技術の波及効果 >

- ・CDM事業展開へのガイドブック、支援
- ・バイオエネルギー・ケミカルズ輸出入事業支援 等

= > ASEANバイオマスにおける農工連携の推進



アジア諸国 “両者にメリットのある相互補完的な共同研究開発” 日本

BDFは、植物油をメチルエステル化して製造。世界で大豆油生産量3000万t/年、パーム油2500万t/年。パーム油生産は、マレーシアとインドネシアが大部分を占める。

バイオマス・アジア戦略

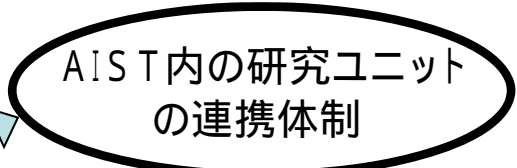
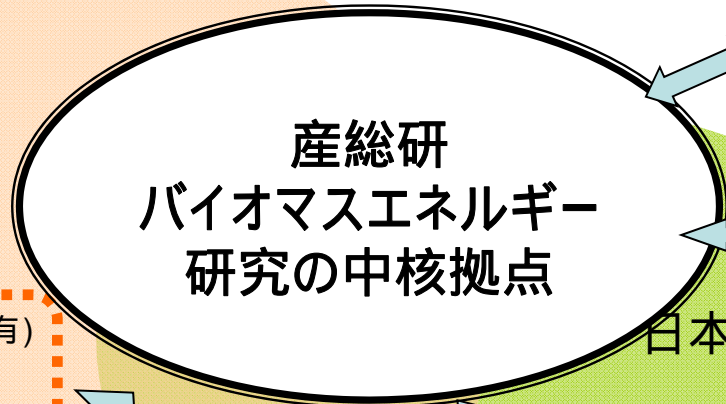
- ・アジア / 世界におけるエネルギー多様化とセキュリティー確保
- ・地球温暖化抑制への寄与 (アジア諸国との連携強化)

- ・バイオマス燃料の安定供給へ
- ・両者にメリットのある相互補完的な共同研究開発
(国際共同研究による技術開発、人材交流・育成)

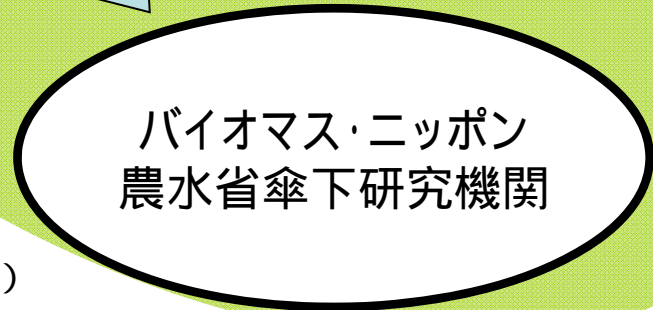
- ・豊富なバイオマス資源 (世界の40%以上を保有)
- ・アジア諸国の保有技術
- ・収集 / 輸送等のコストの優位性



アジア諸国との環境・エネルギー・パートナーシップの強化が不可欠



- ・日本の保有技術・知的財産
- ・バイオマス・ニッポン総合戦略
- ・アジア諸国との連携ニーズ



国際会議 (バイオマス・アジアワークショップ等)
 MOU締結 (タイ: NSTDA, TISTR ベトナム: VAST マレーシア: SIRIM
 中国: CAS、インドネシアBPPT、台湾: ITRI、インド: DBT, CSIR等)